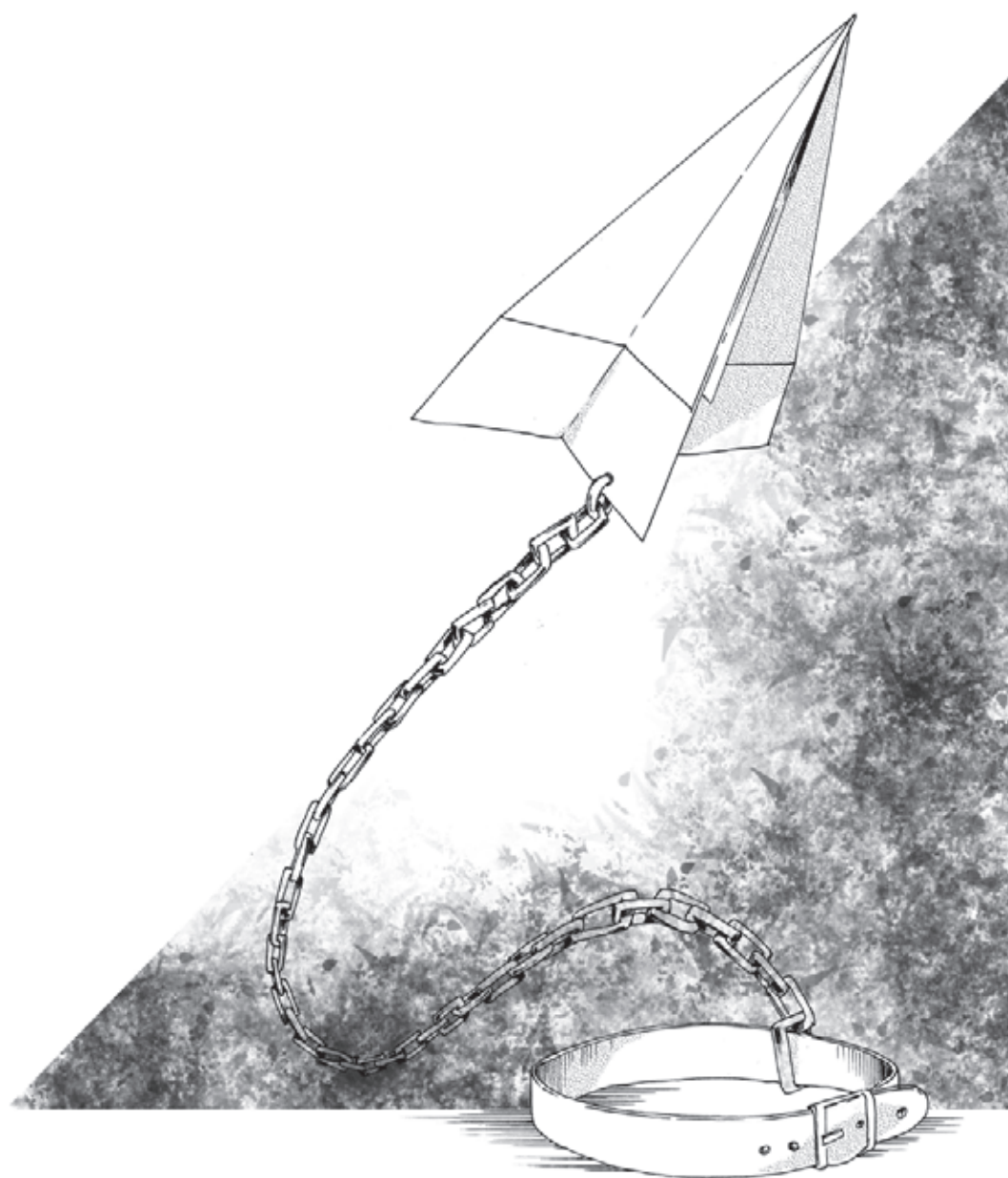
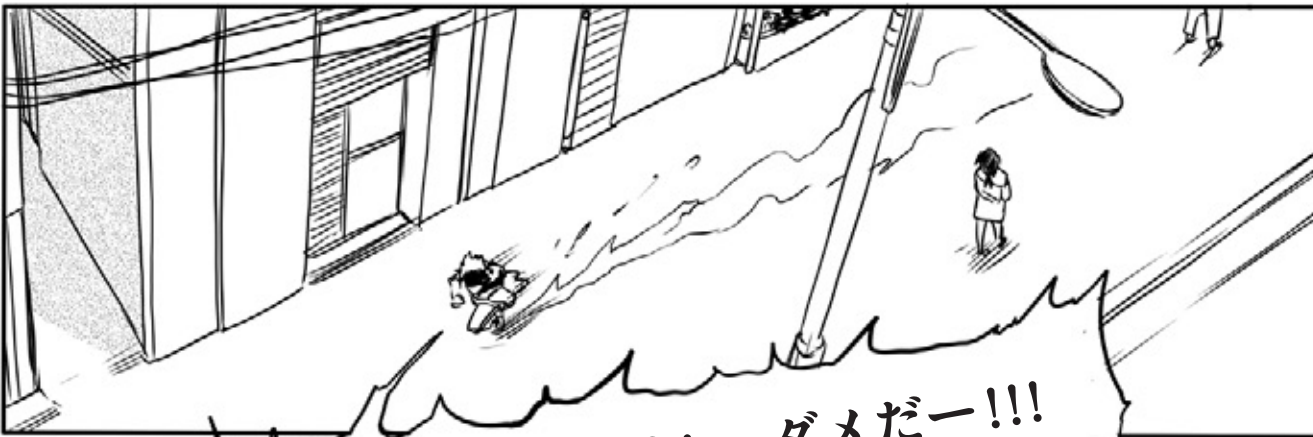


偶然のヒーロー





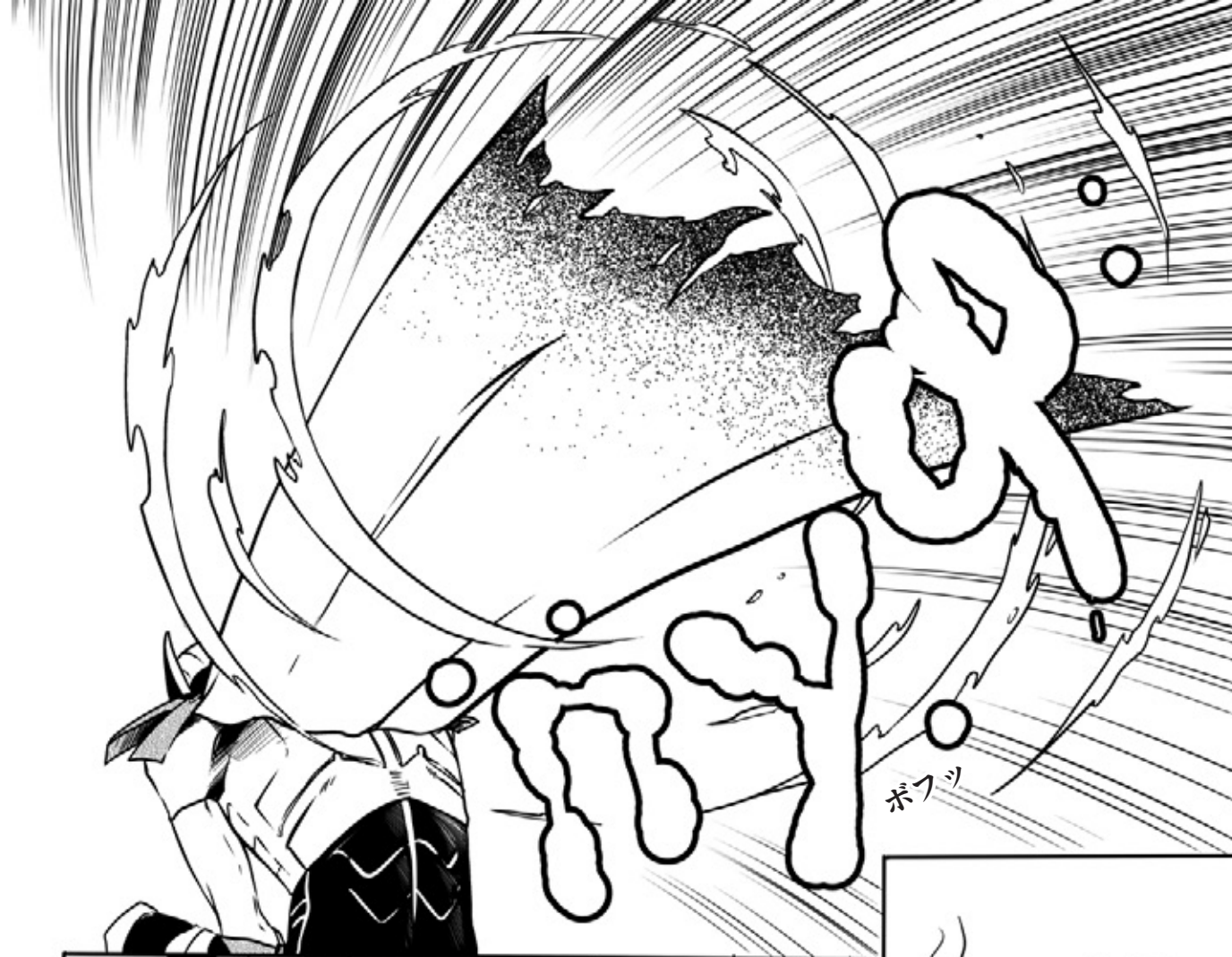
ダメだ！ ダメだ！ ダメだー!!!





今はダメだ!





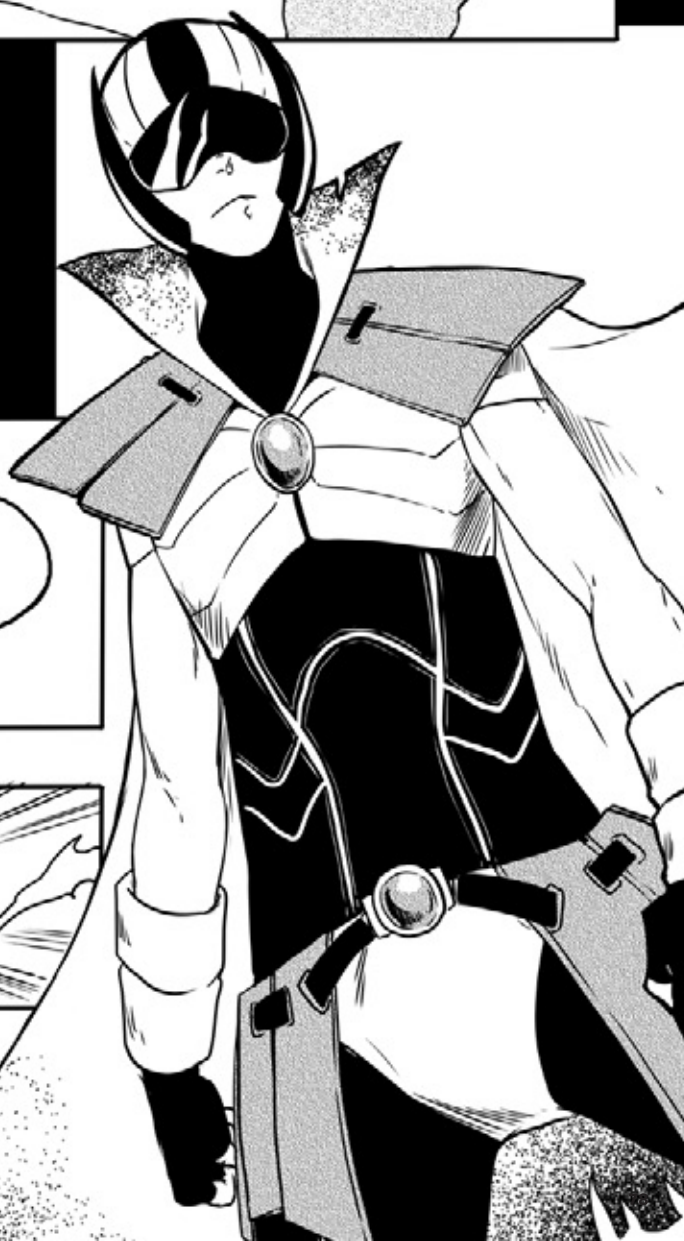
あのことが起きるまでは

私はごく普通の人間だった





あのとき以来近くに助けを
求める人が居ると私はこの
変な格好に変身してしまう





ニヤ—— ニヤ——

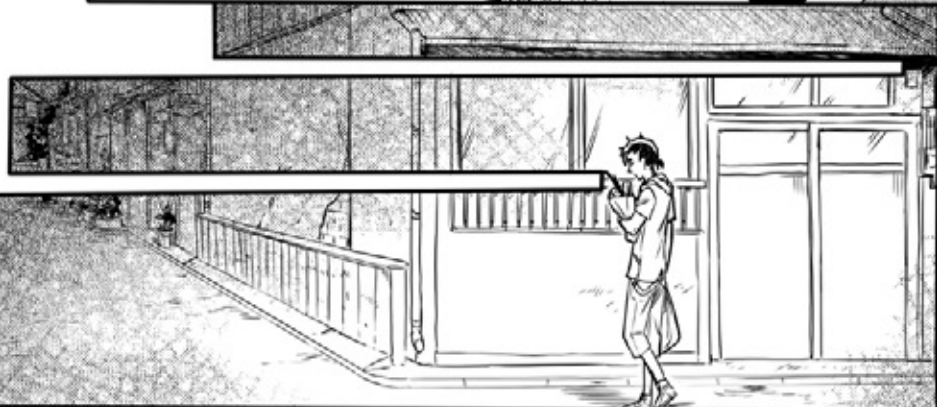


わかった

目を離しちゃ
ダメじゃないか



こんな能力
なくても
いいのに



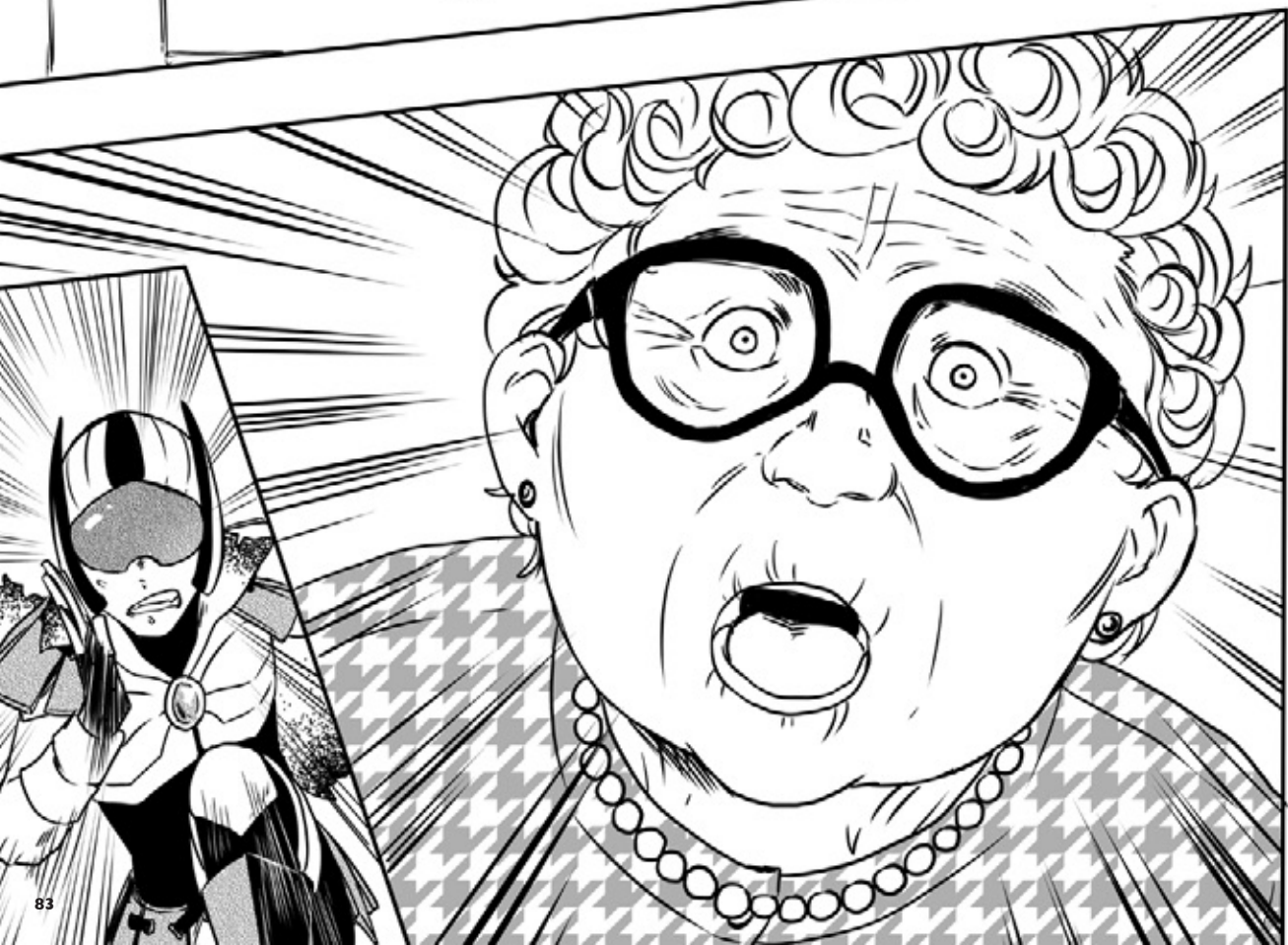


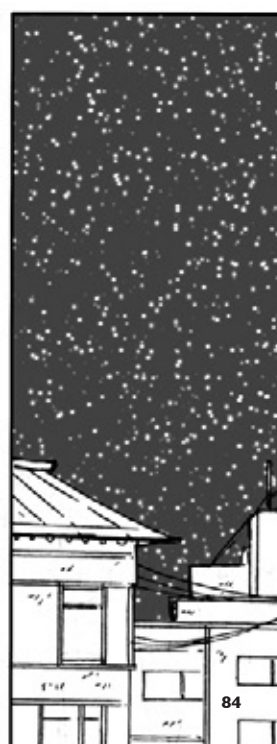
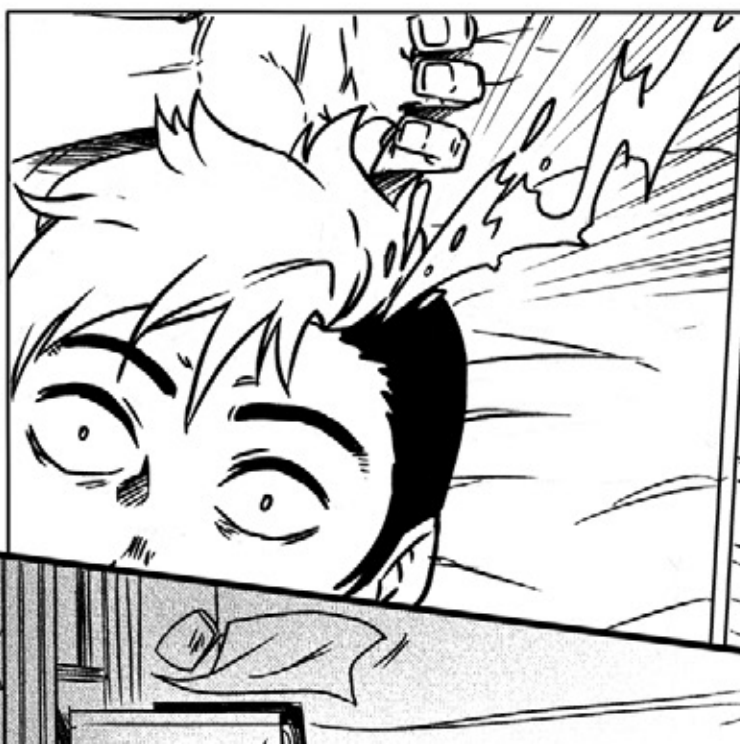
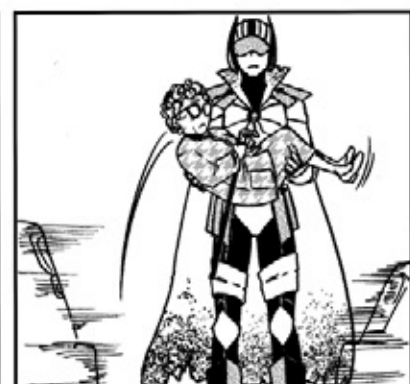
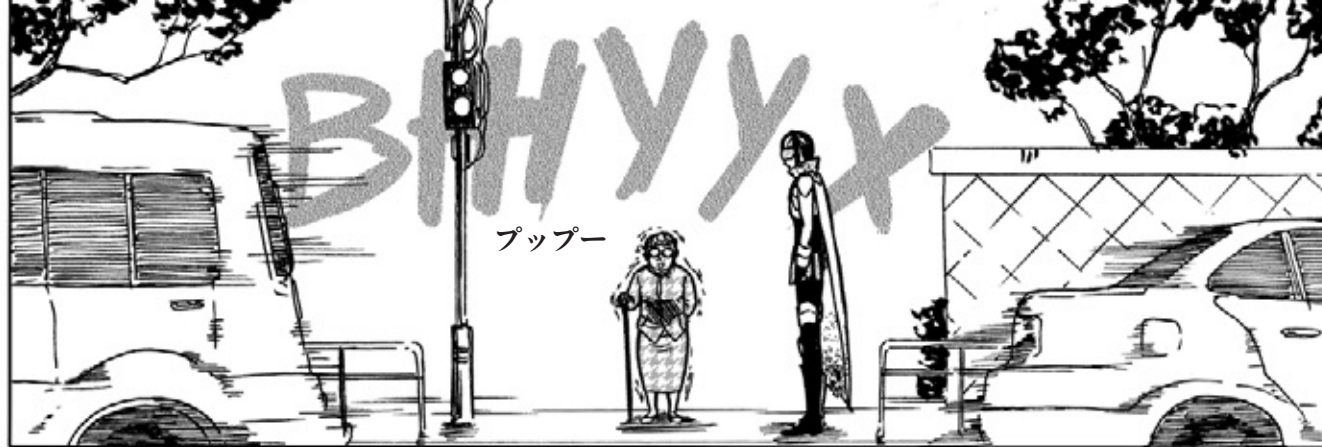
助けて!!



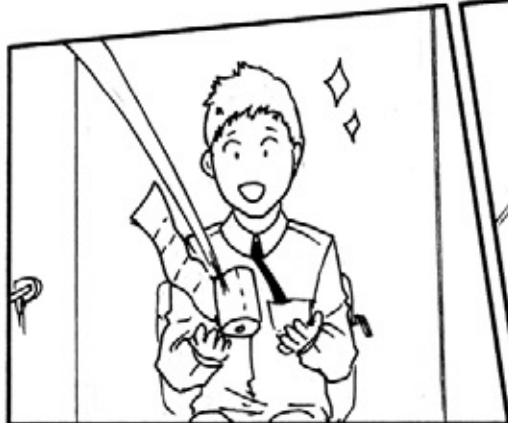
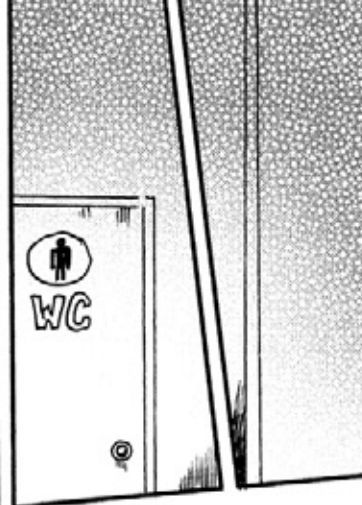
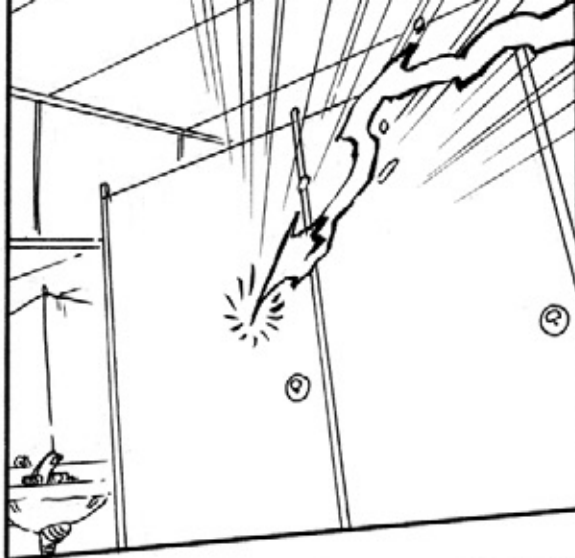
パシイツ











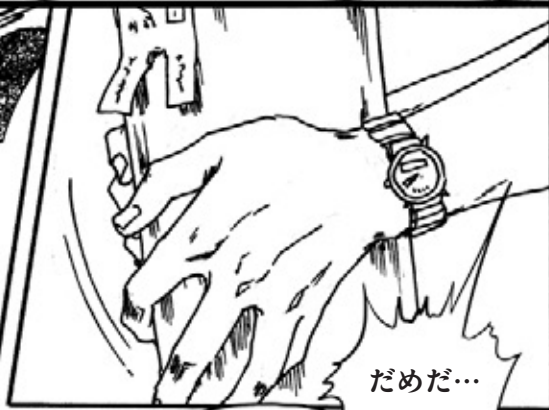
近くに助けを求める
人がいないところ…



こんなことになって一ヶ月経った頃
すべてを捨てて、誰もいない山奥で
暮らしたいと真剣に考え始めた



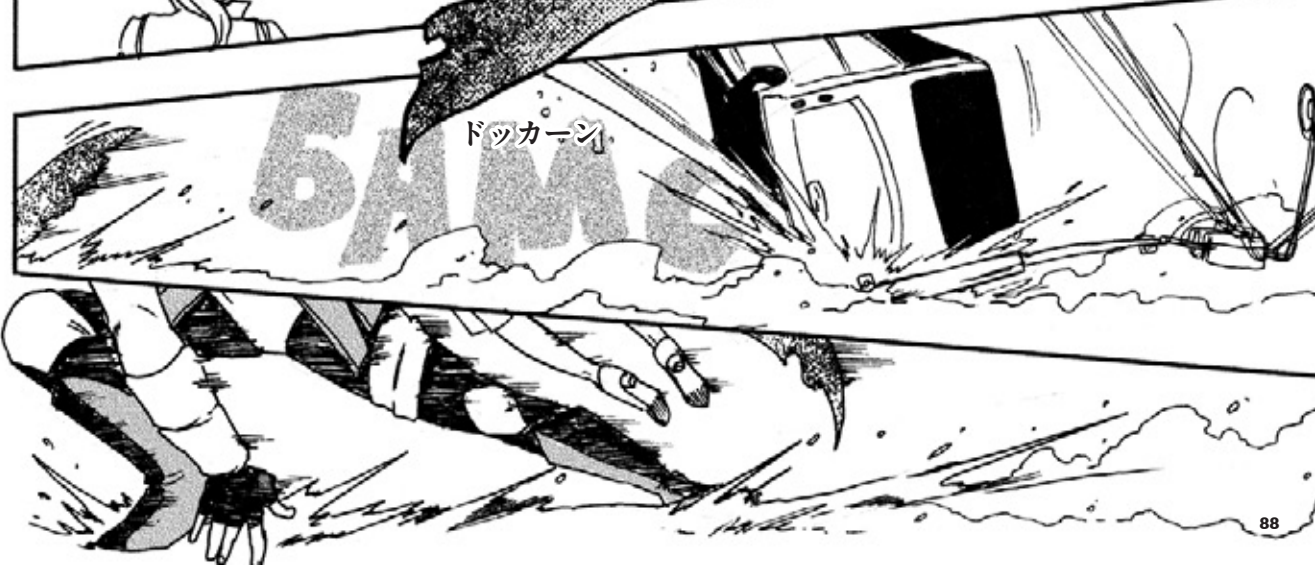
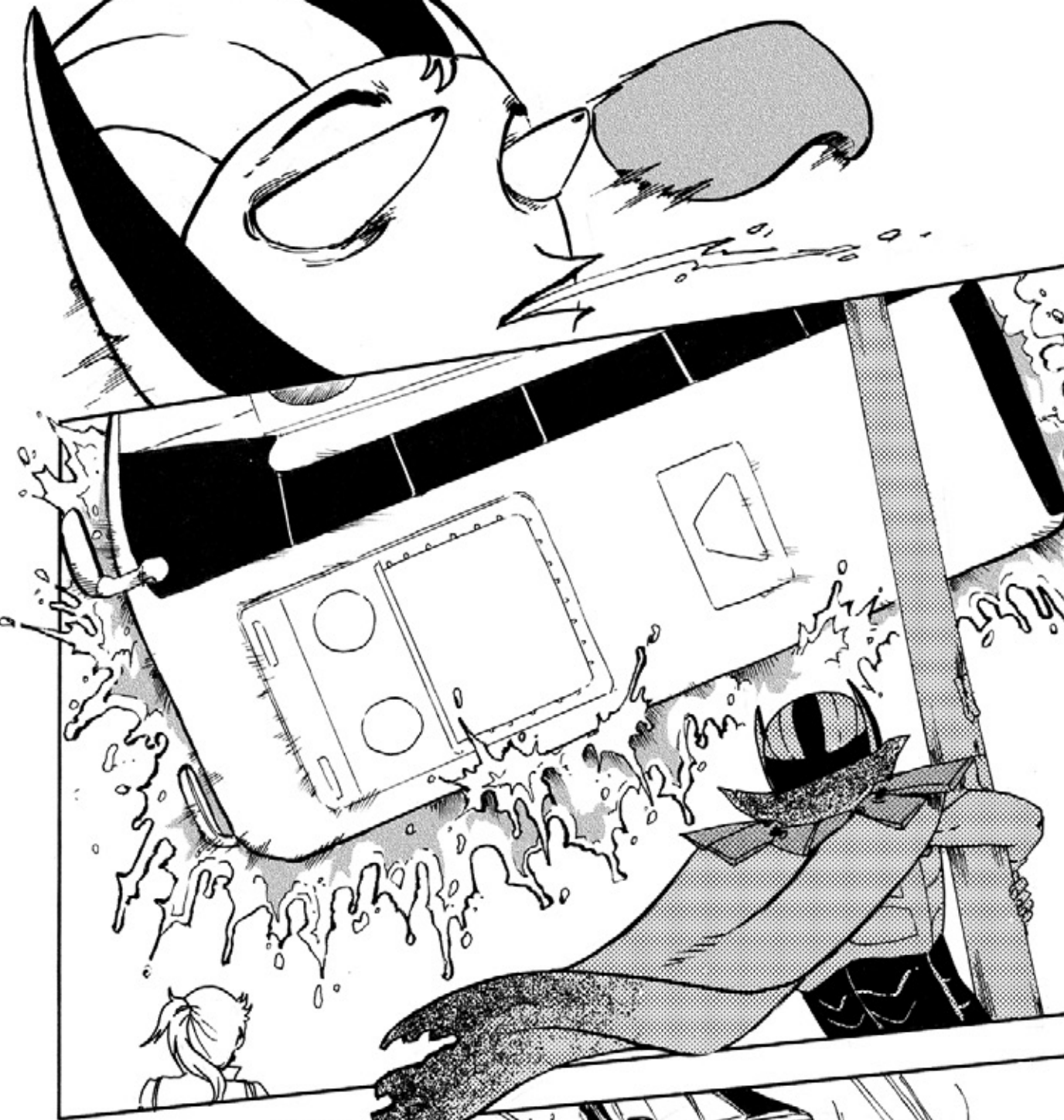
みんな自分でも
何とかできるだろう



だめだ…



他人のことは
もういい



ドッカーン



バカか！
何やってんだ！！

だって
みんなを
助けなきゃ

お前は

お前は
トルネード！

自分の力を
他人のために
使うなんて
バカバカしい

自分の生活を
楽しむのだ！

昔は

みんなの
ヒーロー
だったんじや
ないのか

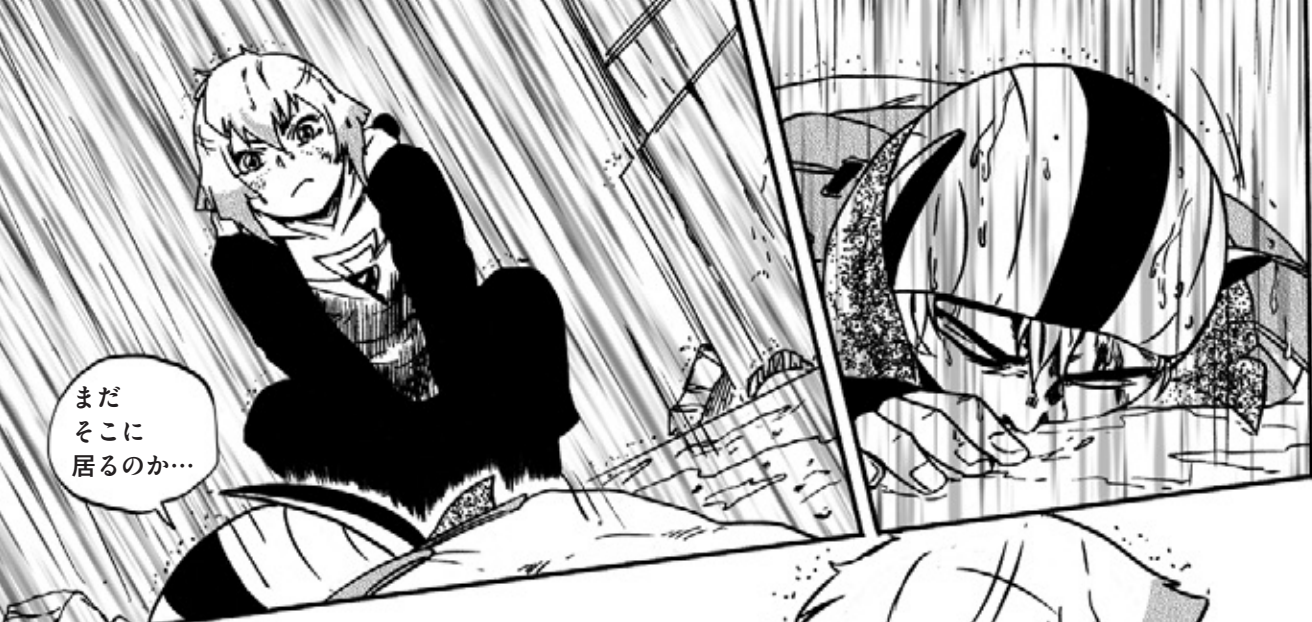


お前も
自分の力は
自分のために使えば
いいだろう

そんなこと
できるか

他人のために
命を削るなんて
バカバカしい



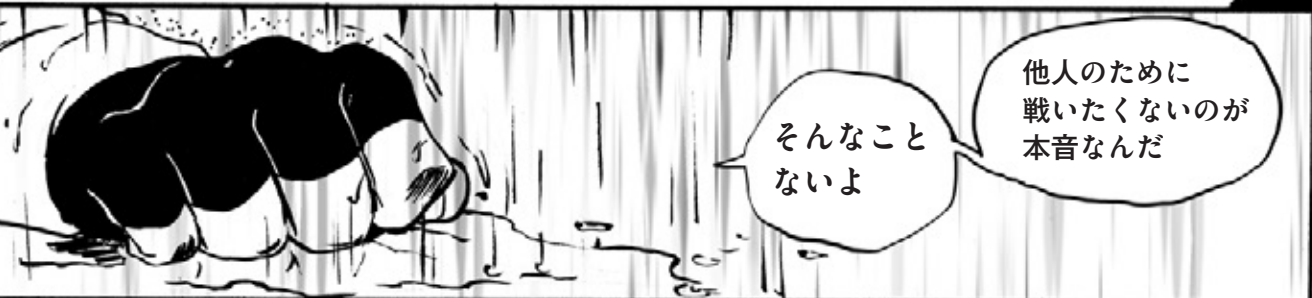


まだ
そこに
居るのか…



僕は
ヒーローなんか
なりたくない…

どうしたの？
あなたには
あいつを倒す
力があるのよ



そんなこと
ないよ

他人のために
戦いたくないのが
本音なんだ





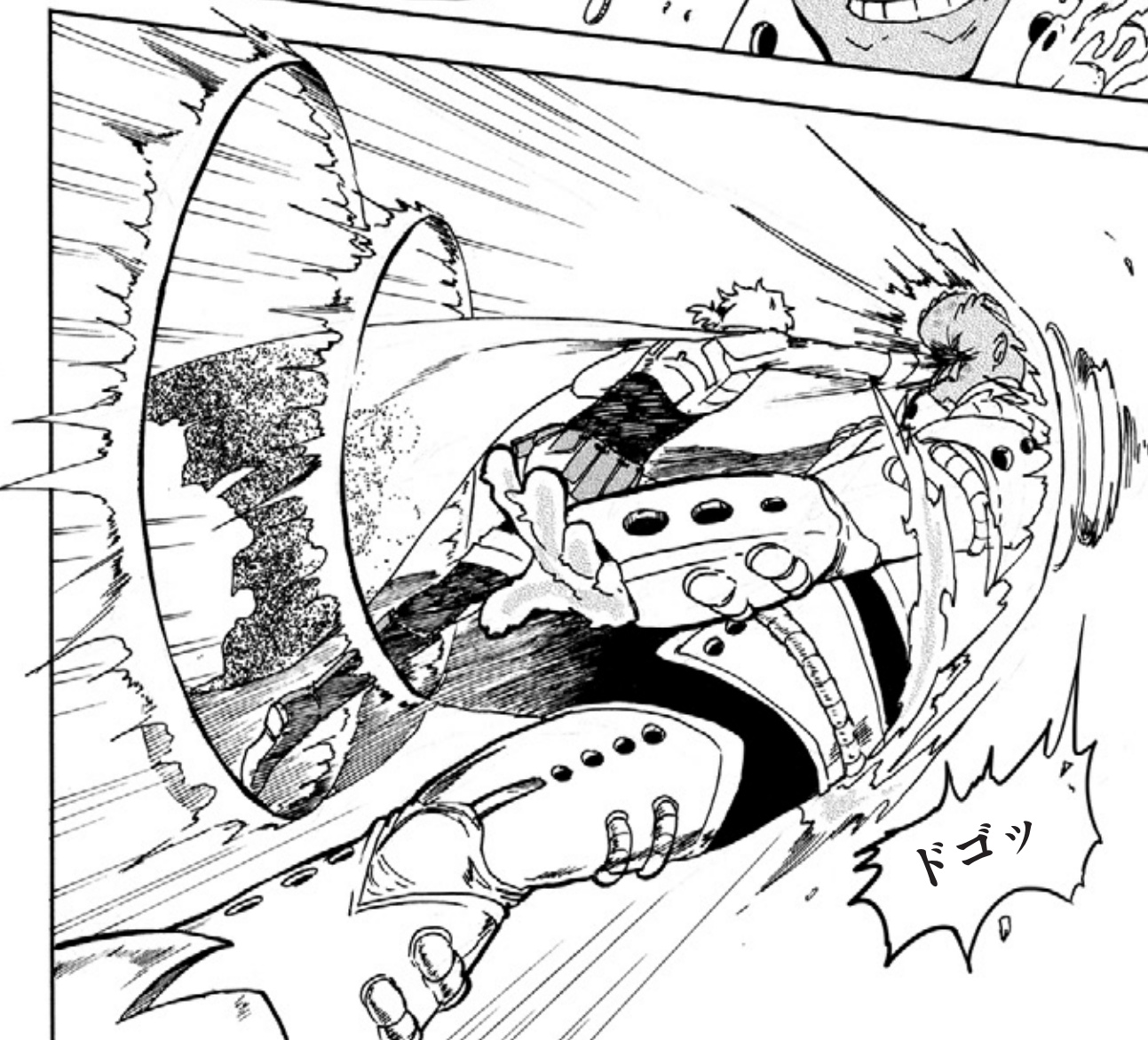
私には特別な
力はないけど、
苦しんでいる
人がいれば
ほっとけないの



止めろ！
あいつは
お前にはムリだ
一分ももたん









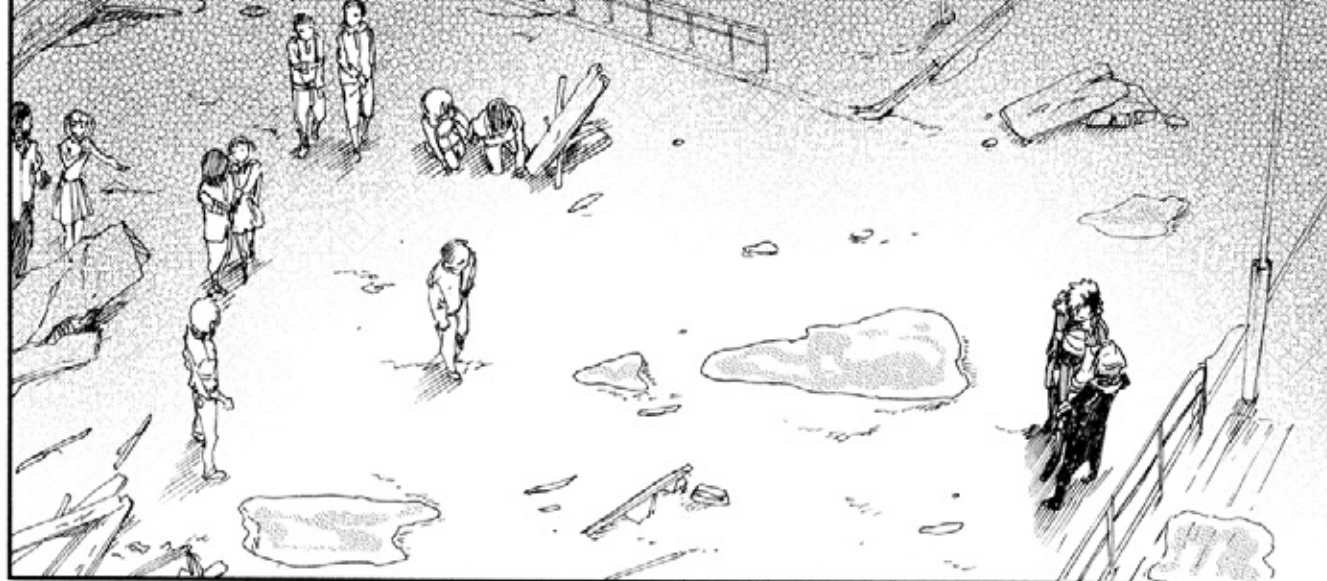
ドスーン

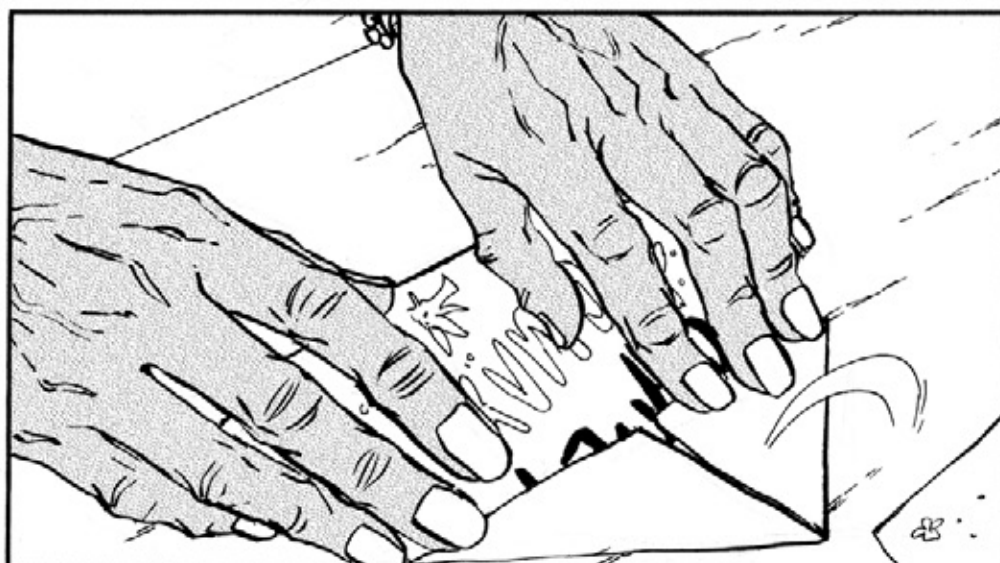
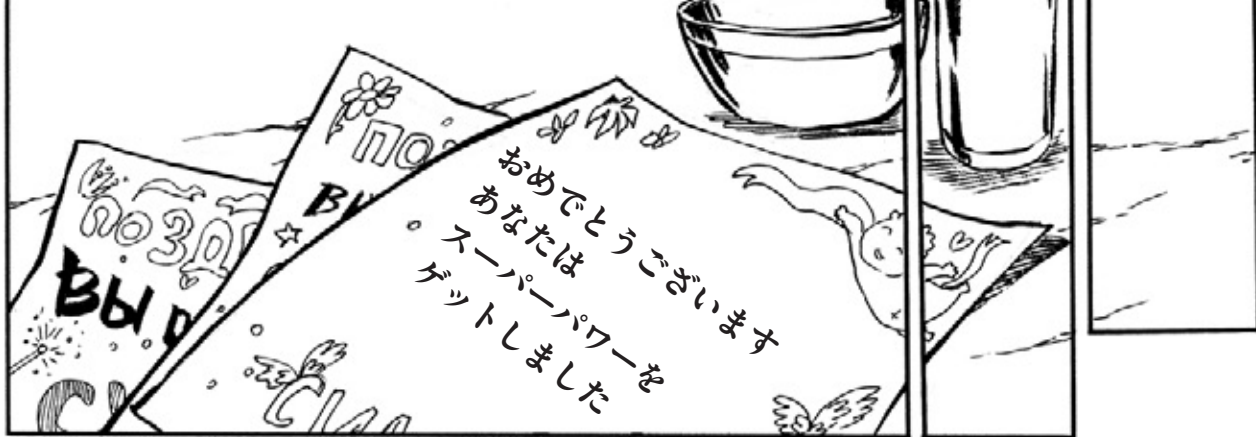
BAK

ポンッ
クッ

考え直した?

諦めるわけには
いかないぜ
お前がヒーローに
なっちゃうだろ





終わり